企業・団体名（ 株式会社サン・ブライト ）

（様式第３号）

SDGs達成に向けた具体的な取組（要件２）

	カテゴリ	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 （県などの取得認証があれば、併せて記載してください。）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
1	人権・労働		【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	基本	雇用、社員教育･訓練、福利厚生面にて、雇用条件での差別の無い体制を、就業規則の定期的な見直しにより構築している。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
2			【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	基本	就業規則への明記及び外部での研修機会があれば、参加している。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8								16.1	
3			【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本	労使協定での取り交わし、及び就業規則への明記。就業規則の定期的な見直し及び所属長･総務関連の監視により、防止できている。								8.5 8.8									
4			【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本	【予定】外国人労働者の雇用体制については、派遣での対応実績はあるが、直接雇用の実績が無く、受入体制を検討中。受入体制の整備を2026年度内までに行う。				4.4				8.7 8.8		10.2 10.3							
5			【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本	安全衛生教育実施による周知徹底。　安全衛生の環境整備については、従業員に周知させる　べく、都度見直しを実施。			3					8									
6			【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本	【予定】就業規則への明記は実施済み。メンタルヘルス、ストレスチェックについての体制整備及び実行を計画中。　２024年度内までに対応整備、随時実行する。			3														
7			【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	基本	女性、高齢者については、対応できている。 【予定】障害者、外国人に関する体制つくりについては、検討中。2026年度内までに体制つくりをする。					5.1 5.5			8.5		10.2 10.3							
8			【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本	教育訓練を受けられる者に制限･区別は無い。社員全員が、どこでも通用するスキルを、希望により身につけられる体制としている。				4	5.5			8	9								
9			【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本	パートタイム･有期雇用労働法、労働契約法の改正内容を、就業規則に反映済。同一労働同一賃金の原則に沿った体制については、最低賃金の動向に沿って見直し実施。					5.5			8.5		10.2 10.3							
10			【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	チャレンジ	健康診断でのチェック及び改善指示を行っている。 【予定】特定健診から人間ドッグへの変更実施。更なる健康状態チェック及び健康状態向上が、生産性向上につながる体制を構築する。人間ドッグの受診年齢も段階的に引き下げ検討。			3					8									
11	環境		【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本	エコアクション21及び5S活動の継続的な実施により、廃棄物の分別、管理は、手順に沿って実行されている。											11.6	12.4		14.1			
12			【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本	エコアクション21活動の目標･実績のデータにて、把握している。							7.3						13				
13			【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本	エコアクション21の活動にて、実績データ把握･抑制目標管理を実施し、温室効果ガス排出量の抑制実施に取り組んでいる。							7.2 7.3					12.4	13.3				
14			【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	基本	PRTR法管理化学物質の把握及び抑制管理を実行している。（エコアクション21の実施項目:リスト化･抑制目標･毎月の使用量の把握）			3.9			6.3					11.6	12.4					
15			【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本	エコアクション21の活動を通して、生産活動にての生物多様性への悪影響の有無を監視し、保全活動を行っている。						6.6									15		
16			【３Ｒの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	基本	取組意識を、エコアクション21教育にて取り上げ、実行している。　【予定】社内でのリデュース、リユースに関して、1項目/毎年の実現を目指す。												12.5		14.1			
17			【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	チャレンジ	エコアクション21の活動にて、水道水の使用量を監視。　使用量のデータ把握･抑制目標管理を実行。継続実施。						6.4 6.6											

	カテゴリ	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 （県などの取得認証があれば、併せて記載してください。）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
18			【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ	エコアクション21を取得している。			3.9			6	7					12	13.3	14	15		
19			【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ	エコアクション21の環境経営レポート及び当社ホームページにて開示している。												12.6					
20			【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ	太陽光パネルを設置している。 【予定】太陽光パネルの増設及び蓄電設備の設置にて社内使用を検討する。（2030年までに実績を出す）							7.2						13				
21			【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ	天然資源（化石燃料の使用量削減）の有効活用及び太陽光の活用を積極的に行っている。												12.2	13	14	15		
22	公正な事業慣行		【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本	就業規則に記載し、社員に周知している。																16 16.5	
23			【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本	就業規則に記載し、社員に周知している。																16	
24			【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本	特許申請及び管理を行っている。								8.2 8.3	9								
25			【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本	就業規則にも明記し、監視体制をとっている。																16	
26			【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ	客先からの依頼も含め、確認している。																16	
27			【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ	就業規則に明記済。 【予定】都度、不足事項については、計画的に改定に取り組んでいく。					5			8		10		12	13	14	15	16	17
28	製品・サービス		【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本	製品つくりの実行にて、仕組みを構築し、運用している。			3.9									12.4					
29			【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	基本	品質意識の向上、トレーニングの仕組みを構築して運用している。									9								
30			【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	チャレンジ	プラスチックの使用量削減に取り組む装置開発。　電力使用量の削減に寄与する製品開発に取り組んでいる。（CO_2排出量の削減）						6						12	13	14	15		
31			【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレンジ	作業要員不足・賃金の高騰への対応・省力化、スピードアップにつながる装置開発及びサービスの展開に取り組んでいる。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

		非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 （県などの取得認証があれば、併せて記載してください。）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
32	社会貢献・地域貢献		【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本	地域の企業からの要望への対応を行っている。　　冬場の雪かきは意識的に実行。【予定】工場周辺及び地域のごみ拾い活動等への積極的対応(2023年度内開始)				4					9		11	12		14	15		17
33			【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレンジ	地域行事及び社会福祉関連の寄付は、積極的に実行。 【予定】ボランティアに関しては、参加可能な就業規則に対応済であるが、実績なし。2023年度以降に参加を勧める。				4							11			14	15		17
34			【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用（地消地産、地産外商）している	チャレンジ	【予定】地域生産･地域企業よりの調達の可能な物の洗い出しを2024度までに行い、可能な購入を促進する。								8	9		11	12	13				
35	組織体制		【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有している	基本	経営理念、経営方針を明確にしている。								8	9								17
36			【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	基本	エコアクション21の活動･監視状態の維持により、社内に浸透している。　活動報告の回覧等により、社内に開示できている。																16	
37			【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	基本	エコアクション21の環境管理責任者･事務局員の任命及び組織体制が確立している。																16	
38			【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー（※）との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体）	基本	エコアクション21及びSDGsの取組みを環境経営レポート･SDGs活動の公開報告を行うことにより、当社に関わる全てのステークホルダーに影響を及ぼしている。																16	17
39			【リスクマネジメント】 ・リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレンジ	【予定】年度末に、リスクの洗い出し･評価を行い、必要な対策を行う。																16	
40			【社会的責任】 ・ＣＳＲ（Corporate Social Responsibility：企業の社会的責任）の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	チャレンジ	【予定】企業の社会的責任への対応について整備して行く。																16	
41			【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンジ	火災に関する定期的な訓練は、対応している。 【予定】2023年度以降、会社周辺地域に発生する災害等への具体的な対応策を確率して行く。									9		11		13 13.1			16	
42			【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ	【予定】事業承継に関する課題の認識をもって検討は行っているが、確率されていない。　継続的に検討し、2030年までには、確定を目指す。								8	9								17

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

【記載留意事項】

・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取り組む予定のものにあっても「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前に【予定】と記載してください。）

・「非該当」欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合にチェックし、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。

・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載してください。

また、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、その旨を併せて記載してください。

（※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、信州福祉事業所認証・評価制度、えるぼし認定、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など）